

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書（単位：千円）

基本目標	3	世界に誇れる環境の街さっぽろ					
重点戦略課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築					
施策の基本方針	<p>地球温暖化の防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となってCO₂の排出量10%削減を目指します。環境問題の深刻さについて市民の理解を深めると同時に、市民の日常生活の中に環境行動のムーブメントを起こします。さらに、札幌市が率先してエネルギーの有効利用をはじめとする環境行動を推進し、その成果を市民・事業者などへ波及させる取り組みを進めます。</p> <p>また、大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした「ワンウェイ型」社会から循環型社会への転換を図るため、企業の事業活動や市民の日常生活におけるごみの発生抑制、再利用、リサイクルを推進するとともに、環境に配慮したごみ処理を徹底します。</p>						
計画事業の実施状況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				進捗率
			16年度 (決算)	17年度 (決算)	18年度 (決算)	合計	
1-2	CO ₂ 削減アクションプログラム	330,000	87,198	87,745	72,135	247,078	74.9
1	地球に優しいまちづくり推進事業 ¹						
1	札幌・環境力・UP事業	13,000	2,468	4,673	4,484	11,625	89.4
1	札幌市環境保全資金融資事業	126,000	5,189	12,577	30,950	48,716	38.7
1	環境関連産業振興事業	15,000	3,681	4,965	535	9,181	61.2
1-3	環境保全型農業支援事業	13,000	4,597	3,910	2,465	10,972	84.4
2	ISO普及促進事業	30,000	9,183	8,723	4,871	22,777	75.9
2	公共施設の長寿命化基本方針の策定 ²						
2	市有建築物の保全システムの構築	117,000	76,995	14,375	6,065	97,435	83.3
2	篠路清掃工場延命化事業	1,200,000	266,444	144,394	676,204	1,087,042	90.6
2	新たな視点による環境共生型公共建築物の整備事業	8,000	0	1,890	2,510	4,400	55.0
2	公共施設における省エネルギー推進・新エネルギー導入の体系的取り組み ³	25,000	5,986	8,527	42,270	56,783	227.1
2	都心北融雪槽活用雪冷熱エネルギー利用実証運転事業(終了)	13,000	4,371	4,076	6,903	15,350	118.1
2	藻岩浄水場小水力発電所の整備 ⁴	384,000	12,075	0	76,300	88,375	23.0
2	都市再生プロジェクト推進事業 ⁵	12,000	12,000	18,200	37,030	67,230	560.3
2	市民・民間事業者への省エネ・新エネ設備導入推進事業 ⁶	75,000	12,915	0	0	12,915	17.2
2	風力発電事業性評価業務	10,000	8,493	5,223	2,357	16,073	160.7
3	ごみ減量アクションプログラム支援事業	27,000	12,318	13,000	14,000	39,318	145.6
3	蛍光管の拠点回収・リサイクル事業	73,000	14,146	17,225	22,286	53,657	73.5
3	下水汚泥の減量化および有効利用計画の推進	50,000	1,911	10,907	10,395	23,213	46.4
3	「さっぽろごみプラン21」の改定	20,000	1,792	16,694	13,375	31,861	159.3
4	ごみ埋立地造成・用地取得事業 ⁷	4,217,000	484,754	199,434	630,375	1,314,563	31.2
4	ごみ埋立地搬入指導強化事業	72,000	19,675	10,991	10,486	41,152	57.2
4	新たな生ごみリサイクルの検討事業	10,000	0	10,305	6,669	16,974	169.7
4	事業系ごみリサイクルシステム構築事業	10,000	0	4,379	3,885	8,264	82.6
4	産業廃棄物減量・リサイクル及び市域内処理推進事業	21,000	14,256	668	2,443	17,367	82.7
1 西区における環境モデル区事業：「CO ₂ 削減アクションプログラム」の事業として予算計上							
2 市有建築物の資産管理基本方針の策定、さらに本方針の全庁的な運用を推進するための検討：既往予算で対応							
3 西区民・保健センターにおける下水処理水排熱の暖房利用：当初は調査費のみを予算計上したが、事業化（H18）による事業費アップ							
4 藻岩浄水場改修に伴う発電施設の改修工事（H16～旧施設撤去、H17～北海水力発電機と共同事業化について基本協定締結、H18～施設整備（電気工事・原水流量計の経費計上、施設建設費は北海水力発電機負担）							
5 熱供給事業者が行う札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業を支援：当初は調査費（H16）のみ計上、事業化決定により設計費（H17）、工事費（H18）を追加したことにより事業費大幅アップ							
6 国庫補助を活用した事業者による地中熱ヒートポンプの設置補助：国庫補助制度の変更により、国から事業者への直接補助（自治体の関与なし）							
7 山本処理場用地の基金買戻し取得の先送り。山本東地区におけるプレロード期間の延長により造成整備が先送り							
追加・補強事業の実施状況(参考)							
		-					-
		-					-
		-					-
		-					-

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 施策総括調書

基本目標	3	世界に誇れる環境の街さっぽろ				
重点戦略課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築				
主な施設、サービス等の整備水準						
施策番号	項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)
1	環境マラソン講座の実施回数	-	699回	890回	919回	900回
1	エコファーマー支援(認定農家数)	13戸	35戸	69戸	70戸	80戸
2	札幌市役所全体で排出するCO ₂ 削減量(H11年度比)	13%	12%	14%	集計中	15%
2	建築物評価システム評価数(累計)	14施設	46施設	226施設	236施設	236施設
2	保全計画策定施設数(累計)	237施設	297施設	303施設	309施設	309施設
2	雪冷熱導入量	2,390トン	3,580トン	3,280トン	5880トン	6,000トン
2	雪冷熱導入によるCO ₂ 排出削減量	45.0トン	65.9トン	66.8トン	100.9トン	115.4トン
3	蛍光管回収協力店(累計)	-	220店舗	229店舗	256店舗	270店舗
主な取組内容						
16年度(実績)		17年度(実績)		18年度(実績)		
施策1	環境意識の醸成と行動の喚起	CO ₂ 削減アクションプログラム:22事業(継続19、新規3)		CO ₂ 削減アクションプログラム:21事業(継続19、新規2)		
	<p>CO₂削減アクションプログラム:25事業(環境マラソン講座、さっぽろエコライフ10万人宣言等)</p> <p>西区「環境モデル区」として「西区民会議」設立:HP開設、地域ミニFM番組制作・放送</p> <p>環境保全行動スローガン決定「守るのが、ある。」</p> <p>環境保全資金融資:事業者向け1件、市民向け5件</p> <p>環境関連事業モデル調査実施(食物残さリサイクル)</p> <p>エコファーマー支援事業実施・有機資源循環モデル事業実施(堆肥化調査他)</p>	<p>西区「環境モデル区」～西区民会議の運営等のほか、元気なまちづくり推進事業「新環境フロンティア事業」実施(木質バイオマス、地産地消費等)</p> <p>環境保全行動スローガンのロゴタイプ作成、デザインふるしき展開催</p> <p>環境保全資金融資:事業者向け9件、市民向け5件</p> <p>環境関連産業振興:バイオディーゼルエネルギー事業可能性調査</p> <p>エコファーマー支援・有機資源循環モデル継続実施</p>		<p>西区～西区民会議の自立に向けた運営等のほか、元まち事業「新環境フロンティア事業」で、自主活動・地域定着を推進</p> <p>環境力UP事業:3年計画の集大成～ふるしきやエコバック利用推進等イベントキャンペーン開催</p> <p>環境保全資金融資:対象設備の改定、事業者向け2件、市民向け9件</p> <p>環境関連産業振興:バイオディーゼルエネルギー事業化支援</p> <p>エコファーマー支援・有機資源循環システム調査研究(アンケート、ワークショップ等)・耕畜連携システムモデル事業(現地試験調査等)</p>		
施策2	行政の率先行動と市民などへの波及	庁内EMS規程の簡素化を含む見直し		「札幌市環境マネジメントレポート」の作成及び公表		
	<p>審査機関による本市ISO14001更新審査</p> <p>「札幌市環境マネジメントシステム(EMS)実施結果報告書」の作成及び公表</p> <p>事業者へのEMS普及・促進</p> <p>公共施設長寿命化基本方針策定の全庁的PJ設置</p> <p>市有施設の建築物評価システムによる評価:32施設</p> <p>市有建築物の保全計画策定:60施設</p> <p>篠路清掃工場の機能・安全性維持を図る整備</p> <p>長寿命、省エネルギーに有効な建築技術の検証</p> <p>既設公共建築物各種工法のランニングコスト実績比較</p> <p>都心北融雪槽雪冷熱実証運転:H16実証試験にてCO₂削減率84%</p>	<p>「札幌市環境マネジメントレポート」の作成及び公表</p> <p>事業者へのEMS普及・促進</p> <p>公共施設長寿命化基本方針策定</p> <p>市有施設の建築物評価:180施設</p> <p>市有建築物の保全計画策定:6施設</p> <p>篠路清掃工場の機能・安全性維持を図る整備継続</p> <p>外断熱による公共建築物(既存)の検証</p> <p>新規建築物における外断熱採用に向けた工法、モデル検討</p> <p>公共施設における省エネ新エネ導入指針案策定</p> <p>都心北融雪槽実証運転:CO₂削減率82%</p>		<p>「札幌市環境マネジメントレポート」の作成及び公表</p> <p>事業者へのEMS普及・促進(指定管理者への取組み推進を含む)</p> <p>公共施設長寿命化:「市有建築物試算管理基本方針」に基づく「ストックマネジメント推進方針」策定(H20導入)</p> <p>市有施設の建築物評価:10施設</p> <p>市有建築物の保全計画策定:6施設</p> <p>篠路清掃工場の機能・安全性維持を図る整備継続</p> <p>外断熱工法のモニター制分析・検証実施</p> <p>外断熱工法採用施設:信濃小等9施設</p> <p>公共施設における省エネ新エネ導入:西区民・保健センターの下水処理水排熱の暖房利用実証事業着手</p> <p>都心北融雪槽:実証運転の実施、基礎データの収集・整理、環境性評価を実施</p>		

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	3	世界に誇れる環境の街さっぽろ	
重点戦略課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築	
主 な 取 組 内 容			
16年度（実績）		17年度（実績）	
藻岩浄水場既設小水力発電設備撤去 地域熱供給事業者が実施する「エネルギーネットワーク構築調査」支援（ワーキンググループの協働設置・運営等） 風力発電事業性評価（風況精査、経済性評価、環境保全効果評価）の実施、庁内検討会議設置		藻岩浄水場水力発電所直営整備の経済性検証 「札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業」支援 風力発電事業性評価：風況調査、経済収支算出	
		藻岩浄水場水力発電所：小水力発電所整備工事開始（民間との共同事業化） 「札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業」支援 風力発電事業：野鳥生息調査、具体事業の関係者調整	
施策3	ごみ発生抑制のしくみづくり		
標語・ロゴ制作（「スリムシティ」）等ごみ減量PR展開 市民、事業者、行政の三者による「ごみ減量実践活動ネットワーク（さっぽろスリムネット）」設立 蛍光管回収：協力店220店舗、回収量35トン 下水汚泥資源化調査（焼却灰資源利用調査） 「さっぽろごみプラン21」改定：基礎資料作成、「さっぽろごみゼロ会議」の議論内容を情報誌掲載		「さっぽろスリムネット」：5プロジェクト設置により各種事業を展開 蛍光管回収：229店舗、回収量79トン 下水汚泥資源化調査（コンポスト生産技術調査研究、再生骨材製造調査） 「さっぽろごみプラン21」改定：「札幌市廃棄物減量等推進審議会」開催及び審議経過の情報提供（さっぽろごみゼロニュース）	
		「さっぽろスリムネット」：5プロジェクト設置し、市の諸施策連携した活動展開～ごみ減量実践者拡充 蛍光管回収：256店舗、回収量109トン 「下水汚泥資源化計画案」策定 「さっぽろごみプラン21」改定：「札幌市廃棄物減量等推進審議会」継続開催、審議会主催のシンポジウムや公聴会により市民等の意見聴取～答申の提出、審議経過の情報提供（「さっぽろごみゼロニュース」等）	
施策4	環境に配慮したごみ処理体制の確立		
ごみ埋立地造成：山本東地区ブロード（盛土）、山本地区圧送管新設工事 ごみ埋立地取得：山口処理場買戻し取得等 ごみ埋立地搬入指導強化（監視要員（ごみGメン））：山本東・北地区、第三山口 大規模事業所ごみ減量化対策（診断書作成、立入指導等） ごみ・資源物保管庫新規設置施設への分別・減量化指導 札幌市産業廃棄物実態調査の実施 札幌市産業廃棄物市域内処理推進懇談会の設置		ごみ埋立地造成：山本東地区・山本地区の基盤整備、東米里西の周辺道路実施設計 次期埋立地調査として（仮称）北部事業予定地環境影響予備調査実施 埋立地搬入指導強化：H16指導強化により自己搬入ごみ減量 山本北地区受入廃止（山本東地区に集約） 生ごみ堆肥化実験モデル事業：3ヶ所実施 事業系古紙回収流通実態調査、関係者ワーキング 札幌市産業廃棄物市域内処理推進懇談会からの意見書受理 札幌市産業廃棄物処理施設設置等ガイドライン策定 札幌市産業廃棄物処理施設設置等指導要綱改訂 市埋立地におけるがれき類、廃蛍光管（市発注工事発生物に限る）の受入停止	
		ごみ埋立地造成：山本東地区の実施設計、東米里西の基本計画策定・周辺道路整備 次期埋立地調査として（仮称）北部事業予定地環境影響予備調査実施 埋立地搬入指導強化：受入基準の厳正適用を継続・受入量の最小化・搬入指導要員1名減 新たな生ごみリサイクル：「定山溪地区生ごみ堆肥化モデル事業」～事業系22事業所・家庭系200世帯 事業系古紙回収：札幌式古紙リサイクルシステム確立（関係者ワーキング継続運営、業者データベース構築、回収協力店拡大、システムの普及推進等） 第2次札幌市産業廃棄物処理指導計画策定（H18.12）・指導計画冊子作成、処理施設設置等ガイドラインの冊子作成	
評 価（ 成 果 ）		課 題	
施策1	環境意識の醸成と行動の喚起に向けて、普及啓発を中心とした事業群を体系的に進めることにより多くの市民の参加を得ることができた。また、西区においても西区区会議が主体となる各種環境活動を実施し、環境モデル区にふさわしい率先的な取り組みを進めた。一方、将来的な環境産業振興に向けての検討も進めることができた。		
	環境意識の醸成については一定の成果が得られたことから、今後は環境行動の定着に向けた普及啓発をさらに拡充するとともに、具体的なCO ₂ 削減に向けた実効性ある取組みが必要である。このことから、環境保全設備導入の支援制度についてさらなる利用者増を目指したPR強化が求められるとともに、環境産業についても具体的なビジネスモデルにつなげるための関係機関との情報交換・調整検討が必要である。		

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	3	世界に誇れる環境の街さっぽろ
重点戦略課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
評価(成果)		課題
施策 2	行政の率先行動として、庁内EMSの運用徹底や公共施設の延命化、太陽光や地中熱の利用等の新エネルギー導入などを全庁的な取組みとして確実に進めた。さらに、庁外への波及として、事業者へのEMS導入推進を図るとともに、都市再生プロジェクトとして支援する熱供給事業者の「札幌駅前通熱供給導管ビット整備事業」を本格的に事業化へと進展させた。	行政の率先行動を引き続き全庁的に継続、推進するとともに、事業者へのEMS導入、省エネ新エネ導入などの環境活動の取組を推進するなど市民、事業者への波及を拡充する必要がある。
施策 3	「さっぽろスリムネット」の関係事業への参加数が増加するなど、ごみ減量実践者が確実に増えるとともに、蛍光管回収量も協力店増加とともに拡充に向かっている。また、下水汚泥を安定的に有効活用するための「下水汚泥資源化計画案」を策定するとともに、「さっぽろごみプラン21」改定について札幌市廃棄物減量等推進審議会が継続して開催され、市民や事業者からの意見聴取を経てまとめられた答申が提出されるなど、ごみ発生抑制のしくみづくりを着実に進めることができた。	ごみ減量実践者の更なる拡大に向けて、「さっぽろスリムネット」におけるごみ減量実践活動の充実、ごみ減量活動の拡大に向けた組織体制の整備が必要である。さらに、汚泥の有効利用先の確保やリサイクルコストの削減について引き続き検討するなど、一層のごみ発生抑制に向けたしくみづくりが求められる。「さっぽろごみプラン21」については、審議会からの答申を受け、速やかに改定作業を終える必要がある。
施策 4	ごみ埋立地については、継続的な搬入指導により自己搬入ごみ受入量の最小化を図り、受入れ間口の縮小、時間短縮などの運営管理の効率化につながった。また、生ごみ堆肥の実験モデル事業には多くの事業所、市民の参加を得ることができ、その後は事業所の自主的なごみ分別につながっている。事業系古紙については「札幌式古紙リサイクルシステム」を確立するとともに、パンフレット等によりシステムの普及推進を図った。さらに「第2次札幌市産業廃棄物処理指導計画」の策定、産業廃棄物処理施設設置等ガイドラインの冊子作成による産業廃棄物適正処理の体制整備を図るなど、環境に配慮した多角的なごみ処理体制の確立を進めた。	今後も埋立地の自己搬入ごみの受入間口や受入品目を一層縮小し、事業者のごみ減量やリサイクルを促進し埋立地のさらなる延命化につなげる必要がある。また、生ごみモデル実験の成果を踏まえた今後の対策や、事業系古紙リサイクル回収協力店の拡充、市街地のビルの分別排出を促進するとともに、産業廃棄物の指導計画やガイドラインを有効に運用することにより、環境に配慮した適正かつ実効性ある処理体制を構築する必要がある。

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	3	世界に誇れる環境の街さっぽろ
重点戦略課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築

成果指標等の動向

<p>項目1 市民の省エネ・省資源行動指標(省エネ・省資源を実践している市民登録者数(人))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>67,400</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>127,628</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>100,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録者数(人)	H14 (現状値)	データなし	H15	データなし	H16	3,500	H17	67,400	H18	127,628	H18 (目標値)	100,000	<p>項目2 廃棄ごみ量(平成10年度対比削減率(%))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>削減率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	削減率(%)	H14 (現状値)	1.0	H15	1.6	H16	5.3	H17	8.2	H18	11.0	H18 (目標値)	10.0
年度	登録者数(人)																												
H14 (現状値)	データなし																												
H15	データなし																												
H16	3,500																												
H17	67,400																												
H18	127,628																												
H18 (目標値)	100,000																												
年度	削減率(%)																												
H14 (現状値)	1.0																												
H15	1.6																												
H16	5.3																												
H17	8.2																												
H18	11.0																												
H18 (目標値)	10.0																												
<p>項目3 環境関連施設利用者数(万人)(環境プラザ、リサイクルプラザ、豊平川さけ科学館、円山動物園など11施設)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(万人)	H14 (現状値)	130	H15	113	H16	111	H17	117	H18	124	H18 (目標値)	140	<p>項目4 環境マネジメントシステム等導入事業所数(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>導入事業所数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>654</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	年度	導入事業所数(件)	H14 (現状値)	75	H15	263	H16	607	H17	654	H18	776	H18 (目標値)	300
年度	利用者数(万人)																												
H14 (現状値)	130																												
H15	113																												
H16	111																												
H17	117																												
H18	124																												
H18 (目標値)	140																												
年度	導入事業所数(件)																												
H14 (現状値)	75																												
H15	263																												
H16	607																												
H17	654																												
H18	776																												
H18 (目標値)	300																												

当初目標を導入事業所300件としていたが、さらなるEMSの普及促進を図るため、平成18年度は700件達成を目指す。

成果指標から見た重点戦略課題の評価

重点戦略課題である「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」への取り組みの成果指標として掲げた4項目について、市民の省エネ・省資源行動(省エネ・省資源を実践している市民登録者数)、廃棄ごみ量(平成10年度対比削減率)、環境マネジメントシステム等導入事業所数の3項目については3年間で順調に実績を重ね、目標値を上回る結果となった。

一方、環境関連施設利用者数については、H16まで減少傾向にあったが、対象施設利用者数の約5割を占める円山動物園において集客方法も含めた運営の抜本的な見直しを進めたこと等によりH17からは増加傾向に転じている。

これらの成果指標の達成状況により、本重点課題への取り組みとして実施した4施策にかかる事業は一定の成果があったと評価できる。